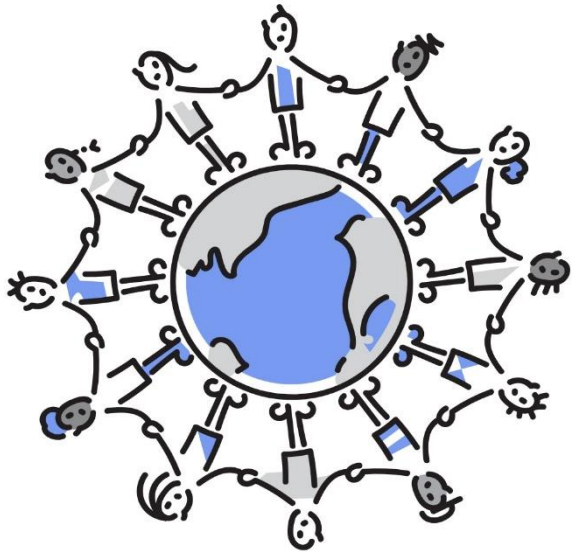
2班　平和学習成果発表



グループメンバー

豊科南中学校	谷口光
豊科北中学校	沓掛澪桜
穂高東中学校	住吉宏介
穂高西中学校	中村くるみ
三郷中学校	植村心咲
堀金中学校	曽根原千暖
明科中学校	赤羽佑斗
松本大学　平和創造研究会	野口ゆず

グループの学習テーマ
『原爆の絵などの記録物と、実際の比較』

△グループで設定した学習の着眼点

- **原爆の投下による広島の状況**
- **被爆者の遺品や被爆した建物**
- **被爆体験記朗読会**

見学した場所



- 広島平和記念資料館
- 平和記念公園
- 広島平和記念式典
- 全国こども平和サミット
- 被爆体験記朗読会
- 厳島神社



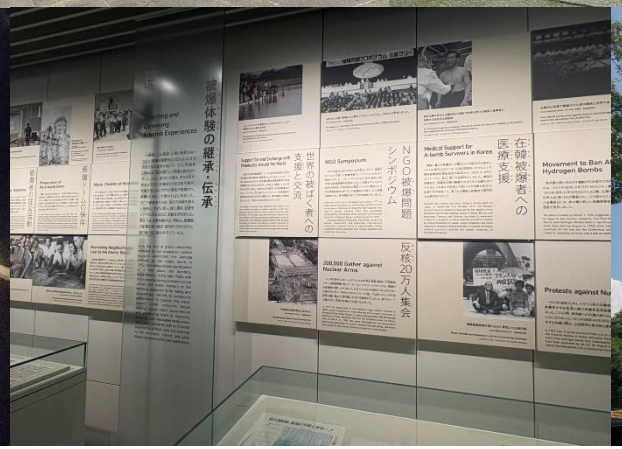
見学の様子

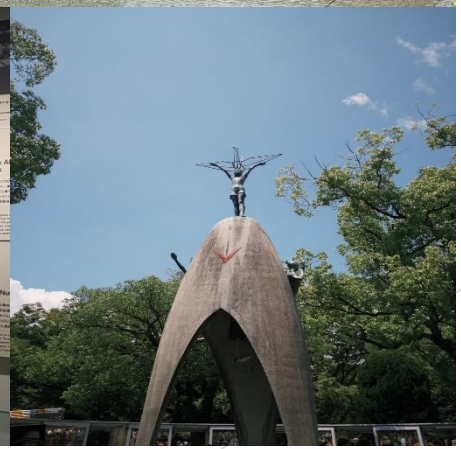



令和8年8月6日 広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式
AUG. 6, 2026 HIROSHIMA PEACE MEMORIAL CEMENORY






被爆体験の継承・伝承
NGO被爆問題シンポジウム
在韓被爆者への医療支援
反核20万人集会



原爆の投下による広島の状況



- １９４５年１２月末までに、約１４万人が亡くなった
- 爆心地から半径2㎞以内が消失
- 爆発の影響で周りの空気が膨張し、街を爆風が襲う
- 熱線により爆心地周辺の地表面の温度は3,000度から4,000度に達した
- 爆心地から1㎞以内で直接、放射線を受けた人はほとんどが亡くなり、直接被爆しなかった人も「残留放射線」の影響を受けた



被爆者の遺品や被爆した建物

- 被爆したアオギリ
- 爆風で押しつぶされ傾いたビル
- 原爆ドーム
- 熱線で歪んだお弁当箱
- ボロボロになった衣服

被爆体験記朗読会



大切な人を失う痛みや会いたい人に会えない苦しさを小学生に経験させてしまった戦争の残酷さが朗読を聞いて伝わってきました。改めて二度と戦争を起こしてはいけないと実感させられました。

被爆した方、遺族の方の言葉にならない思い（恐怖・心配・悲しみ・苦しみ・痛みなど）を感じました。被害の大きさとか、精神的にダメージを受けてしまった人の感情とか、逆に放心して何も感情がわかなくなってしまった情景も浮かんできて、心が痛みました。

広島での学習の成果



・熱線や爆風で原形をとどめずに壊れてしまったものが多く、絵や写真に写っている景色は本当にこの場で起きていたことなんだと実感した。

・学徒動員の作業中に亡くなった子供が多くおり、勉強がしたくてもできず文句も言えなかった子供たちがいたことを忘れてはならないと感じた。

・被爆体験記を実際に自分の声に出して読むことにより、当時の人々の思いや苦しみをより身近に感じることができた。

・全国子ども平和サミットでは、実際に被爆を体験された河野キヨ美さんのお話を聞き、戦争の恐ろしさと今ある日常の大切さを実感した。

記録と現地から感じた広島

・広島で実際の被爆地や資料を見ることで、原爆の被害をより身近に感じた

・ 被爆体験を聞き、戦争の恐ろしさと平和な日常の大切さを実感した

・被爆体験記を声に出して読むことで、当時の人々の思いを知ることができた

・私たちが学んだことを周りの人や次の世代へ伝えていくことが大切である

これからの私たちにできること

- 平和について学び続ける
- 学んだことを周りの人たちに伝える
- 核の恐ろしさを世界にもっと知ってもらう
- 被爆者の方々の思いを次の世代へと繋いでいく





感想



広島での出来事を目の当たりにして、核兵器の恐ろしさを知りました。被爆者の方々の高齢化が進む中で、次は私たちが被爆の体験を語りつないでいく必要があると思いました。（谷口 光）

広島平和記念資料館を見て、改めて核兵器の恐ろしさを感じました。核兵器はなくなるべきだと思いました。（住吉 宏介）

実際に原爆という恐ろしい兵器が落とされた場所に行くことで、被爆者の本当の思いや亡くなった方々の思いがわかるような気がしました。テレビで見る式典を実際に見て、聞いて、記念資料館を実際の目で見て回ると、とても怖くなりました。相手の意見を受け止め平和を目指していきたいです。（曽根原 千暖）

広島平和記念資料館へ実際に行って、遺品や写真を見て原子爆弾の恐ろしさを知り、二度と戦争をしてはいけないと感じました。（沓掛 澪桜）

広島に行く前に事前学習で学んだことや授業などで学んだことより、現地に行ってみたことのほうが衝撃などいろいろなことが感じられて貴重な経験になりました。（植村 心咲）

今までは、原爆や当時の様子を事実として受け止めることがあまりできなかったけど、被爆者のお話を聞いたりして自分事として受け止められたと思いました。（赤羽 佑斗）

今回の参加事業で、今まで自分には関係ないと思ってしまっていた戦争を身近に感じ、自分事として捉えられるようになりました。広島で起きた事実と、平和を願う人たちの思いをたくさんの人に伝えていきたいと思いました。（中村 くるみ）

最後に

- 広島に実際に足を運び、「見て・聞いて・感じる」ことで平和についてとても深く考える機会になった。

- 「過去の出来事」で終わらせずに、これからも学び、伝えていきたい。



ご清聴ありがとうございました！